



兵庫支部NEWS H20年 12月号

北九州市立大学同窓会兵庫支部 編集発行人 名越英昭(Tel078-792-6130)
ホームページ http://www.hi-net.zaq.ne.jp/kono メール hn75kb@ybb.ne.jp

購読料 12回、1,500円(送料込)
購読のお申し込みは郵便振替
振替口座:00980-2-245822
口座名:北九州市立大学同窓会兵庫支部

平成20年度兵庫支部忘年会

泡盛(古酒)を飲み、沖縄料理と楽しんだよ!!

12月6日(土)午後5時から沖縄居酒屋「海風屋(ウミカゼヤ)」で総勢30名が集い開催された。



三宅幹事が進行役となり安徳副支部長の開会挨拶の後、参会者の中の最長老井上信之氏(25米英)の乾杯のご発声で宴会が始まった。



この会場は三宅幹事の高校時代の友人経営[安徳副支部長挨拶]で、特別に泡盛古酒2本が提供され、まろやかな旨さを堪能した。

当初34名参加予定であったが、(乾杯発声の井上氏

急用のため欠席となったのは残念だったが、数年振りに支部行事参加の原田睦夫氏(38米英)、初めて参加された杉山剛太氏(34商)などの参加があり、会はいつもより盛り上がった。



(忘年会風景)

会場では大村支部長肝入りで作成された大学校歌・逍遙歌のDVDが映し出され、希望者に実費1,000円で販売された。

午後8時前、大村支部長の終宴の挨拶があり、記念写真を撮影して散会となった。

散会後は、それぞれが夜の三宮へと繰り出し、二次会、三次会と楽しまれたようだ。



安徳	高山	竹下	岩崎	名倉	吉本	井上	名越	山田	出口	元田	鷹野	長谷川	二宮
前原	明	久芳	大村	杉山	松尾	村上	謝	三宅	平間	藤澤	藤田	佐藤	
					植松				永翁				



損害保険・医療保険・がん保険
の総合保険代理店

安心の発信基地

大村保険サービス

代表 大村 実良
(昭和33年商学部卒)

652-0897
神戸市兵庫区駅南通3丁目4-1-302
TEL 078-671-7318 FAX 078-671-8316

インドレストラン“シャンティ”で忘年会

安徳信義(44商)ー兵庫支部副支部長ー経営のインドレストラン“シャンティ”で年末恒例の忘年会を企画、同窓生の参加を呼びかけている。

飲み放題、食べ放題、一人当たり4000円。

12月26日(金)午後6時から

インドレストラン“シャンティ”

JR芦屋駅ビル モンテメール5F

電話:0797-35-4807

参加申込:安徳信義

携帯 090-3718-9204

E-mail: antoku@ethnic.co.jp

年金にもある扶養手当(…のような+α)

あなたはもらっている？

知っている人だけが得をする“知っ得”講座 - その2

社会保険労務士 土屋眞一

それは厚生年金の「加給年金」と言われるもので、厚生年金の受給者の奥さん(または夫の場合も…)に対する「扶養手当」みたいなもの、と言えれば分かり易いでしょう。加給年金をもらうためにはいくつか条件があり、厚生年金がもらえる人なら、誰でももらえる？というわけではないので、誤解のないように！

まず、厚生年金に原則として20年以上加入していなければなりません。そして年金をもらえるようになったとき、65歳未満の妻がいる場合に限定されています。また、加給年金がもらえるのは60歳からではなく、厚生年金の定額部分の支給開始時からとなります。この他、妻の年収が850万円以上だとももらえません。この加給年金、年金と同じように終身、死ぬまでもらえるというのではなく、妻が65歳になるまでとされており、もらえる機関が限られているわけですね。一種の扶養手当みたいなもの、と形容した理由がここにあります。つまり、奥さんが65歳になれば通常は奥さん自身の老齢基礎年金がもらえるようになるのでそこで扶養手当みたいな=加給年金は一応打ち切りとなるのです。ご主人が年金を受給し始めてから、奥さんの年金がもらえるようになるまでの、通常は比較的短期間の、つなぎ的なおまけ…?と言えなくもありません。

それとちょっとおかしな話になりますが、俗に言うところの姉さん女房だと加給年金はまったくもらえません!えう?そんな馬鹿な!!と思われるでしょうが、そもそも加給年金は、奥さんが年下であると言う昔からの最大公約数的な設定で制度が作られているようですね。損得の話をするのも変ですが、仮に奥さんが、ずっと離れた年下である場合は、原則として奥さんが65歳になるまでもらえますから、ご主人との年齢差が大きいほど長い期間加給年金がもらえて得をする?ということになります。…巷で言われるところの「姉さん女房は金のワラジをはいて云々…」という言葉はこと年金にはあてはまりませんね。

それから、この加給年金と表裏一体、セットになった「振替加算」の説明をしておかなければなりません。加給年金は、奥さんが65歳になってときに支給停止となりますが、その代り…?ともいうべきものが「振替加算」です。加給年金はご主人の厚生年金にプラスされての支給ですが、この振替加算はその名の通り、ご主人の方に支給されていた加給年金がカタチを変えて、奥さんの老齢基礎年金にプラスされて支給されるものなのです。支給額は奥さんの生年月日によって異なり年齢が若くなるほど遡減となっています。*詳しい説明は省きますが、この振替加算がもらえるのは、大正15年4月2日から昭和41年4月1日までに生まれた方に限られています。また、振替加算に期限はなく奥さんが生きてる限り一生もらえるものなのです。それと上で奥さんが年上の場合、加給年金はもらえないとお話ししましたが、それじゃあ振替加算ももらえないのか?と思わるかもしれませんが、実は

兵庫支部月例会11月「三金会」

11月21日(金)囲碁の会に続いて、午後6時頃から三金会が開催された。

出席者は、大村実良(33商)支部長、二宮慶治郎(38米英)吉本富雄(39米英)安徳信義(44商)山田徳昭(44商)名越英昭(37米英)及び兵庫支部NEWS寄稿者(年金知っ得講座)土屋眞一氏の7名。

土屋氏の出席で年金に関わる話題でひとしきり話が弾む。同氏には年金の話をして5回程度の連載をお願いしている。



やや遅れてやつ(左から安徳、土屋、山田、大村、吉本、二宮)てきた二宮氏は、11月9日六甲全山縦走で3回目の踏破に成功。三金会会場「雲南茶苑」のママ李紫君さんが先日公演した雲南民族音楽コンサートを収録したDVDを「お祝い」にもらった。

大村支部長から新しく作成した大学校歌・逍遙歌のDVDについて説明。北友会会報12月号に掲載しているが各支部に配布された校歌・逍遙歌CD(DVDを手に二宮氏)を基に大学新校舎落成時の絵葉書7枚を背景に映し出されるDVDを作成したもので、作成費は1枚当たり約1,000円。希望者に実費で頒布することとし、忘年会でも出席者に紹介することにした。

雲南茶苑ではこの程カラオケを設(ソプラノで演歌を披露)置し演歌も唄えるようになり、早速カラオケを楽しむ。ママもあのソプラノの美声を張り上げて「宗右衛門町ブルース」を披露した。

年金“知っ得”講座 その2- (つづき)

振替加算の方は姉さん女房の場合でももらえますので誤解のないようにね。この場合いつからか?といえはご主人が厚生年金の定額部分をもらえるようになったとき奥さんが65歳になっていたなら、その時点から、奥さんの老齢基礎年金に振替加算がプラスされます。また、加給年金は奥さんだけではなく、稀なケースではありますが、子供に対してもつく場合がありますので、それについて次回にご説明しましょう。

「三金会」「囲碁の会」会場ご案内

中国 雲南茶苑
Tel 078-271-1168
神戸市中央区中山手通
1丁目24-4
ドラゴンズビルB1F

「三金会」

毎月第三金曜日 午後6時～

会費:3,500円

中国雲南省の家庭料理を

ご賞味ください

「囲碁の会」

毎月第三金曜日 午後3時～



(山手幹線北野坂、あなと銀行 地下1F)

インド便り

メダカ小学校の「ピクニック」

高森千賀子(44米英)

近くの学校の生徒たちがピクニックにいったそうで、我が校の生徒たちが「ごうちも行きたい」と言いました。今まで近くの野原へお弁当持参で行ったことはあるが、車で、遠くへというのはなかった。ここから11km程の所に、行楽地となっているダム側の公園に行き、自分たちで昼食を作ることに決定した。

2～5年生約30名と、急遽校長の祖父も駆り出されることになり同行だ。日頃、遅刻する生徒も当日は朝早くに集合した。ミニバンに半数の生徒と食事の材料や道具などを積み込みギューギューだ。ここでは車の定員オーバーは、インド人が良く言う「ノープロブレム(問題ない)」なので、誰も咎める者はいない。途中からは道が細くなり悪いので、片道に30分近くかかった。車は2往復で、私の乗った後発グループが到着すると、既に校長の祖父の指揮で石が集められてかまどが作られ、燃料の木々も拾い集められていた。牛の糞でできた燃料は校長宅からだ。

生徒たちはまず、ビスケットやバナナなどのスナックを食べ、すぐに遊び始めた。上級生は料理作りに取り掛かった。献立は「なすとじゃがいものカレーと、チャパティ」だ。カレーと言っても日本のいわゆるカレーとは違って、油と香辛料での炒め煮のようなものだ。材料はあらかじめ茹でてもらっていたので、時間が短縮された。しかし、チャパティは1枚ずつ焼かねばならず、予想外に手間取った。チャパティというのは、ご飯と並び主食になるもので、フスマ入りの小麦粉を水で溶いて、ホットケーキを薄くしたようにのばし、専用のフライパンで焼くのだ。家庭では麺棒でのぼすが、ここでは手の平でのぼすので、結構時間を要した。でも生徒たちは自分の作ったのを他の生徒と比べて「大きい」「小さい」や「上手だ」「下手だ」とワイワイガヤガヤ楽しんで作っていた。5年生の女生徒2人が、主に焼いてくれたが、もうこの年齢になると、食事作りを家でできるようになる。男子生徒はいつの間にか途中で逃げてしまい、遊びに加わっていた。食事作りは2時間かかり、お腹が空いていたのと、青空の下でなので、全員美味しく、たらふく食べ尽くした。

その後は音楽に合わせて踊ったり、徒競争を男女混合でしたりと、思い思いに過ごしていた。男子生徒を集めて、日本の運動会でよくある「組み体操」のピラミッドや扇形をさせたり、騎馬戦のようなのを教えると大受けだった。帰りは学校までは車で送るが、遠くから通学している生徒を先に帰らせ、2度目の車が学校に到着したのは5時半だった。帰りの車の中では、誰からともなく全員が歌い始めたし、車に乗る機会のない生徒たちはとっても嬉しそうだった。授業ではいつも芳しくない生徒も、その日は上手に踊ったり、徒競争で勝って自慢したりと、生徒の違う一面を垣間見ることができた一日だった。



明るく 元気で 楽しい 同窓会

関西支部総会懇親会盛大に開催

平成20年11月16日(日)午前11時から、新大阪ワシントンホテルプラザに於いて、平成20年度関西支部総会・懇親会が開催された。

「明るく、元気で、楽しい、同窓会」というスローガンを掲げ、総勢85名が集い、総会、講演会、懇親会そして二次会と、楽しく和やかに同窓生の交流がなされた。

御堂支部長は「役員の方々の努力で昨年より26名増となった」(挨拶する御堂支部長)と開会挨拶の中で述べ、議長に松尾幹事を選出して、収支決算・予算、活動報告・計画等を審議・承認され総会を終了。続いて横光克彦衆議院議員(42米英)が最近の政局及び年金問題について講演があり、身近な問題とあつて皆さん熱心に聞いておられた。

記念写真撮影後、懇親会に入る。兵庫支部から大村支部長、二宮事務局長、名越顧問のほか4～5人が出席し、関西支部会員との懇親を深めた。

(横光議員の講演) アトラクションは、兵庫支部の皆さんには忘年会などでお馴染みの「ひばりソックリさん」のショーが華やかに始まり、懐かしいひばりソングが次々と披露され、おひねりが飛び交うなど、出席者を魅了した。

(同窓生の交歓があちこちで) 懇親会の終わりは出席者全員による逍遥歌の大合唱、そして万歳三唱で閉会となった。

二次会会場は同ホテル1階にある舶来居酒屋「宝島」が用意された。同ホテルの永田総支配人は同窓生で、破格のサービスで、食べ放題、飲み放題、歌い放題で、30人ほどが集まり、賑やかに懇親会の余韻を楽しんだ。

(二次会も賑やかに)



(ひばりソックリさん)



思案亭投句集

11月
若さゆえ オバマ来たなら 彼にグジ (Yes I cann)
イラク止め 派遣隊員 アフガンへ (小浜)
ライン止め 派遣社員は 首切れ (豊田)
大手だけ シャッター下ろして 密談へ (シャッターアクト)

12月
この先は 冬に備える 財布かな
冬の露(雪) 裁判員候補の 通知来し
アラフォーの 君とは違う 歳の暮れ

「蟹喰えば・・・」(鑑札付本場がに)

カニカニクラブ幹事 竹田秀壽(44米英)

本年のカニカニクラブ(9名参加)は、西日本有数の日本海海水浴場竹野浜の旅館で11月29日～30日に実施した。

今年で6回目。これで、但馬地方のカニで名だたるところは一応制覇した。節目の年に当たる。だから、特に今回は、皆、気張って、本場・地物の松葉ガニ限定のフルコース……と豪勢に決め込んだ。参加者全員が腹はペコペコ、財布はパンパンにしていざ出発。



折しも、宴会のテーブルに着くなり、テーブルクロス一面に毛筆体で書かれた、さし絵つきの「川柳、俳句、だじゃれ？」らしき文章に皆の視線が集まった。「蟹喰えば 銭(かね)が要るなり 山陰路」だとさ。宿の主人の粋なユーモアに皆苦笑した。

こうして、これが本場物(地物)か否かという識別は素人には難しい。料理長に言わせると、「かに刺」を喰えばすぐ分かるらしいが、今回は我々の肉眼でその真偽を確かめることができた。テーブルに次々と出されるカニの足に、港の名前、船の名前が刻まれた輪っこ(手錠?)がはめられている。これを一度巻きつけると、足を折らなければはずせないそうだ。さすがだ。

(大金払って「ロシア産や北海道産の冷凍品」では、たまったものではない)

さて開会の挨拶が長く感じられ、早速舌鼓の大合奏の始まり。あつという間の3時間。赤い顔のカニにかぶりつく赤い顔の飲んべえたちの至福の一時である。

二次会は、フランク永井追悼のコンサートを自演し大いに盛り上がった。

竹野浜は江戸時代、北前船の寄港地でもあった。そして今、それらの資料を展示する「北前館」という施設がある。



二日目は、グルメの旅は一転して、研修の旅と化した。食欲のみならず、知識欲も旺盛で各人の知的好奇心は高まり、資料一つ一つ魅入った。(メンバーの中の一人M君はやけに「船」のことに詳しく一人一人にあれこれ講釈していた)

こうして、但馬の旅は、喰ってよし、見てよし、知ってよし、と充実の2日間であった。

来年は11月28日～29日、いよいよ「志賀直哉の城崎にて」。もうそこまで決まっている。

乞うご期待!!

歩こう会11月例会

須磨区縦断 — 名谷から須磨駅へ

11月9日(日)午前10時神戸市営地下鉄名谷駅に集合したのは安徳、名越、岡本の3名。途中で合流した伊藤の4名が本日の参加者。

二宮会長は六甲全山縦走に挑戦の為欠席となるので筆者名越がコース設定を任せられ、地元須磨区名谷団地から須磨駅までの約9km、北から南へと縦断するコースを案内することにした。

名谷駅からショッピングセンター須磨パティオを通り抜け、やや下りの緑道を南西に歩くと、土池公園に到着する。ここで伊藤氏と合流して谷間を水道局ポンプ場までは舗装道路、そこからは細い山道を通って、小川沿いに田畑がある路を歩いて(谷間の細い路を歩く)本コース唯一の登り道を登り切ると多井畑の住宅地に出る。少し南下した所に、光源氏のモデルの一人、在原行平が愛した二人の娘、松風・村雨の墓がある。又近くには義経腰掛の松があり、二人の娘が水鏡として使った「鏡の



(松風・村雨の墓)

井」がある。それらを見物して日本最古の厄除の霊地といわれる多井畑厄除八幡宮にお参りしそこでスタンプラリーの用紙をゲットした。神社横には奥須磨公園があり、ホテルやトンボの



(鏡の井)



(多井畑厄除八幡宮参道)

観察場所

があり、親子で楽しめる公園である。ここで昼食をとり、更に南下する。高倉団地を通り抜け第二神明道路の下を潜り抜けると旧神明に出る。ここで当初予定を変更し、スタンプラリー完遂の為、須磨寺方面へ向かうことにする。須磨寺では丁度「須磨かるた会」が開催されていた。

須磨寺から須磨寺前商店街を通り綱敷天満宮迄の道を「智慧の道」と称するそうだ。商店街や天満宮でスタンプをゲットし、それぞれ名前を記入して応募箱に入れる。当たるかなあ! 2時過ぎに須磨駅にゴールインした。



(須磨かるた会が開催されていた)

諏訪山公園ビーナスブリッジで初日の出

「歩こう会」恒例行事となっている「初日の出」を拝み、初詣をする会を、諏訪山公園ビーナスブリッジで実施することになった。

1月1日(木)午前6時

JR元町駅西口北側に集合

諏訪山公園ビーナスブリッジまで徒歩約30分、1.5km程度。初日の出を迎えた後は、生田神社に初詣をして散会とします。

皆様のご参加お待ちしております。